

第7回 まちづくりメイヤーズフォーラム

地域資源を活かしたまちづくり

～北の住まいるタウン～



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

とき

平成30年 (12:40開場)

10月31日(水) 13:30～17:00

参加無料

ところ

京王プラザホテル札幌 B1 プラザホール

札幌市中央区北5条西7丁目2-1

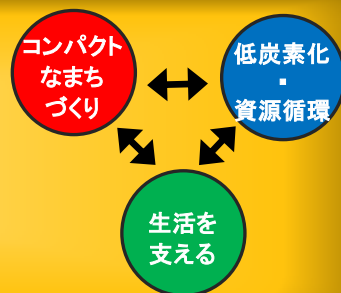
定員250名

人口減少、高齢化が急速に進む北海道の市町村。まちづくりの課題は多岐にわたっているため、総合的・分野横断的に取り組むことが必要不可欠です。

道では、複合的な地域課題を地域資源の活用を通じて解決し、将来的に北海道が目指すまちの姿を「北の住まいるタウン」とし、その実現に向けて「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」3つの取組を各自治体と協力しながら推進します。

本フォーラムでは、新エネルギーをはじめとする地域資源を活用した事例などを中心にご紹介いただき、これからの地域づくりについて考えていきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。



基調講演

「地域づくりのための
バイオマス利活用」



北海道大学大学院
工学研究院 循環共生システム
教授 石井 一英 氏

特別講演

「地域と共に
～サステナブルな
地域づくり」



(株)セコマ
代表取締役社長
丸谷 智保 氏

パネルディスカッション

～地域資源を活かしたまちづくり～

まちづくり事例紹介 ①恵庭市 原田裕市長 ②東川町 松岡市郎町長
「北の住まいるタウン」の目指す姿

北海道大学大学院工学研究院 副研究院長 瀬戸口剛教授

パネリスト：原田恵庭市長、松岡東川町長、石井教授、丸谷代表取締役社長

コーディネーター：瀬戸口教授



主催：北海道、一般財団法人 北海道建設技術センター

共催：北海道大学大学院 工学研究院 都市地域デザイン学研究室

後援：国土交通省北海道開発局、北海道市長会、北海道町村会、公益社団法人 日本都市計画学会北海道支部
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部

第7回まちづくりメイヤーズフォーラム
地域資源を活かしたまちづくり

～北の住まいるタウン～



プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 基調講演（40分）
「地域づくりのためのバイオマス利活用」
- 14:15 特別講演（40分）
「地域と共に
～サステナブルな地域づくり」
- 14:55 休憩（10分）
- 15:05 パネルディスカッション（110分）
「地域資源を活かしたまちづくり」
- 16:55 閉会挨拶

参加申込方法

本チラシの下記申込書にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。
メールにて申し込まれる場合は、下記申込書の内容をメール本文にご入力の上、お申し込みください。

FAX

011-232-1147

メール

kensetsu.tokei1@pref.hokkaido.lg.jp

[問い合わせ先]

〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目
北海道建設部まちづくり局都市計画課
担当：尾崎

TEL：011-204-5284

FAX：011-232-1147

E-mail：kensetsu.tokei1@pref.hokkaido.lg.jp



申込締切
10月23日(火)

プロフィール

石井 一英 氏

北海道大学大学院工学研究院教授。博士（工学）。
北海道大学工学部工学研究科助手、同准教授を経て2018年より現職。
NPO最終処分場技術システム協会副理事長（兼国際委員長）、NPOバイオマス北海道副理事長。
（前）北海道環境審議会委員、札幌市環境審議会委員など、廃棄物及びバイオマスの利活用に関するハード・ソフトを統合的に研究すると共に地域循環共生圏づくりを通じた地方自治体のサポートに取り組む。

丸谷 智保 氏

（株）セコマ代表取締役社長。慶應義塾大学法学部卒業。
北海道拓殖銀行、シティバンクを経て、2007年（株）セイコーマート（現（株）セコマ）に入社。2009年より現職。
内閣府経済財政諮問会議政策コメンテーター。
過疎化と高齢化が進む地域に新しい店舗のあり方を模索し、グループのサプライチェーン組織を活かして、道産食材の活用と地域発展に取り組む。

原田 裕 氏

恵庭市長。北海道大学法学部卒業。
恵庭市役所、北海道議会議員（4期）を経て、2009年恵庭市長就任。現在3期目。
職・住・観光等が揃う生活都市、都市と田園が融合した「北のガーデンシティ」の形成を目指し、コンパクトなまちづくり、観光、公共施設マネジメント、官民連携などの政策、事業を一体的、横断的に進める「ガーデンデザインプロジェクト」に取り組む。

松岡 市郎 氏

東川町長。旭川東高等学校卒業。
1972年に東川町役場入庁。社会教育課長、税務課長を経て、2003年東川町長就任。現在4期目。
複合交流施設（せんとうびゅあ）の建設や町立日本語学校の開設。自然豊かな観光資源を活かしたまちづくり、「写真のまち」ひがしかわ株主制度などに取り組む。

瀬戸口 剛 氏

北海道大学大学院工学研究院教授、副工学研究院長。博士（工学）。早稲田大学理工学研究科博士課程修了。
北海道大学工学部建築工学科助手、助教授を経て2010年より現職。
国土交通大臣表彰国土技術開発賞（2016年）、文部科学大臣表彰科学技術賞（2015年）、日本建築学会賞受賞（2014年）。
専門は都市・地域計画。雪や寒さを考慮した積雪寒冷地域の都市デザインや、夕張市をはじめとする集約型コンパクトシティなどに取り組む。「北の住まいるタウン」検討協議会の座長も務める。



参加申込書

所属名・職名	氏名	電話番号